

10月28日（火）

きょうは、“スパゲティ・ナポリタン”についてのお話をします。

“スパゲティ・ナポリタン”という名前を聞くと、いかにもイタリア料理かと思ってしまうですが、<sup>じっ</sup>実は、日本で生まれた料理です。“ナポリタン”は、約100年前に、横浜にあるホテルニューグランドの<sup>だい2 だいめ</sup>第2代目の<sup>りょうりちょう</sup>料理長が考えた料理であるという<sup>きろく</sup>記録があるそうです。

きょうの給食の“スパゲティ・ナポリタン”には、ウインナーソーセージに、たまねぎ、にんじん、マッシュルームの<sup>ぐざい</sup>具材が入っていて、トマト味でおいしく<sup>し あ</sup>仕上がっています。ビタミンCなどの<sup>えいよう</sup>栄養がたっぷりですので、残さずにしっかり食べましょう。